



袖ヶ浦市市制施行30周年記念事業
令和3年度特別展

かつて見た 袖ヶ浦の

海

—海から見つめる袖ヶ浦の100年—

ようこそ！「生き物」と「なりわい」からせまる袖ヶ浦の海の世界へ



令和3年10月2日(土)～令和3年12月12日(日)
開館時間：午前9時～午後5時
月曜休館・11月3日(祝), 11月23日(祝)
は開館, 翌日休館
入場無料

関連イベント開催！詳細はHP等でお知らせします。

- ★展示解説会(10/9・11/14) ★干潟観察会(10/17)
- ★講演会(11/20) ★海苔すき体験(1月予定)



袖ヶ浦市郷土博物館

〒299-0255 千葉県袖ヶ浦市下新田1133

TEL. 0438-63-0811 <https://www.city.sodegaura.lg.jp/soshiki/hakubutsukan/>



でかけましょう、 袖ヶ浦の海をめぐる旅へ…

袖ヶ浦市の海は現在、海岸一帯に京葉工業地帯が広がっています。これは戦後の埋め立てにより形作られたものですが、埋め立て以前には海苔養殖などの漁業が盛んに行われていました。そしてそれを支えていたのが、様々な生き物を育む広大な干潟で、人々は海の自然と隣り合わせの生活をしていたのです。

本展では、かつて存在した干潟の生き物や生態系について探るほか、当時使われていた漁具や漁業協同組合の記録などを展示します。「生き物」と漁業をはじめとした人々の「なりわい」の2つの視点から、袖ヶ浦の海の過去から現在までの100年間の歴史を辿る旅にでかけましょう。



①長浦から奈良輪の航空写真(昭和30年代)



②中袖工場地帯の航空写真(平成初期,長浦)



③盤洲干潟のコメツキガニ

④養殖牡蠣の陸揚げ
(昭和40年,奈良輪)

⑤パッチン網を用いたクルマエビ漁

関連イベント

※新型コロナウイルス感染症等の影響により、延期または中止とさせていただきます。

①展示解説会

- 10月9日(土) 午前11時、午後1時30分～
- 11月14日(日) 午前11時、午後1時30分～ ■定員各10名(申込先着順)

②観察会「盤洲干潟を知ろう！干潟の生き物観察会」

- 10月17日(日) 午前9時～午前11時30分 ■定員20名(申込先着順)
- 講師 盤洲干潟をまもる会 ■臨時駐車場集合(盤洲干潟までは徒歩移動)

③講演会「第161回袖ヶ浦学『東京湾の過去・現在・未来 —いきものと漁業の歩み—』」

- 11月20日(土) 午後1時30分～午後3時
- 定員60名(申込先着順)
- 講師 鳥羽 光晴 氏(東京海洋大学客員教授)
- 長浦おかのうえ図書館視聴覚室

④海苔すき体験会

- 令和4年1月開催予定 詳細未定

各イベントはお電話もしくは窓口での事前申込が必要です。
参加費や集合場所等詳細はHP等でお知らせします。

アクセス

■電車をご利用の場合
JR内房線「袖ヶ浦駅」から日東バス「平川行政センター・のぞみのバスターミナル行」『袖ヶ浦公園』下車 徒歩8分
※土日祝日は「東京ドイツ村行」

■お車をご利用の場合
東関東自動車道館山線 姉崎袖ヶ浦ICから約20分
アクアライン連絡道 袖ヶ浦ICから約15分

